

子どもの虐待防止セミナー 開催要綱

趣旨 子どもの虐待については、相談所への虐待相談件数が増加し続けるのみならず、重大な事件が頻発し深刻な社会問題となっています。

子どもを救うため、虐待防止に関する各種法制度の整備が行われ、保育所等の職員は関係機関への通告義務が規定されています。これは保育者が、子どもや保護者と日常的に接する専門職として、虐待の未然防止や早期発見の役割を期待されていることを表しています。

子どもの健やかな育ちを支えるため、保育者や子どもの育ちを支える社会の一員として、子どもの虐待に関する理解を深め、必要な支援を考えることを目的に開催します。

1. 虐待の現状と背景について、改めて学べます

子どもの虐待について、基本的な知識として虐待の種類や影響・法律や制度を再確認するとともに、虐待と相関関係にある子どもの貧困についても学びます。コロナ禍における子どもを取り巻く環境について、現状を理解できます。

2. 虐待を防ぐために、どのような保護者支援ができるかを考えます

虐待の発生を予防するためには、保護者の様々な「不安」「悩み」を専門職として受け止める必要があります。

保護者との信頼関係の構築や、保護者自身の病気、育児や生活の不安等、保護者への支援方法について考えます。

3. 子どものSOSサインを感じ取れるよう、子どもの心理を学びます

豊かな子ども時代は、人生の基礎とも言えます。

大人に保護・養育される子ども期にとって、脳や心に虐待やマルトリートメント（不適切な養育）が与える影響、心理について、学べます。

開催形式

オンライン（オンデマンド配信）

対象

社会福祉施設・社会福祉協議会等の職員

配信期間

※別途、ご連絡します。

研修費用

会員・準会員 5,000円 非会員 10,000円

申込期間

※別途、ご連絡します。

受講可否

※別途、ご連絡します。

プログラム

時間	研修科目	研修内容
約 60 分	講義 1 「子どもの虐待の現状を知る」	虐待の種類や影響、虐待が起きる背景、虐待に関する法律や制度、動向等、子どもの虐待に関する知識を学びます。 虐待が疑われる様子に気付くためのポイントや、虐待対応の基本についても理解します。
約 60 分	講義 2 「子どもの貧困と子育て支援」	新型コロナウイルス感染症の影響により保護者の失業や休業が相次ぎ、特にひとり親世帯の生活実態は厳しい状況にあるといえます。 生活のゆとりのなさは虐待と深い関係があることから、子どもの貧困の現状を把握し、見守り体制を強化するための支援について考えます。
約 90 分	講義 3 「虐待予防のための保護者支援」	虐待の発生を予防するためには、子どもと保護者の両方を支える視点が重要です。保護者の育児不安や孤立感から虐待につながることも少なくないため、「保護者が相談しやすい専門職」である保育者等には大きな期待がされています。 保護者との信頼関係の構築、養育に不安を抱える保護者への支援について学びます。
約 90 分	講義 4 「子どもの心理と行動の理解」	虐待やマルトリートメント（不適切な養育）が、発達段階にある子どもの脳に大きなストレスを与えること、その後の人生に及ぼす影響について、理解します。 「気になる子」の言動にSOSのサインが隠れていないか、子どもや保護者を観察する視点の基礎と、子どもの心理を学びます。

講師

(調整中)